



会派を構成しない議員  
とりいやすこ  
**鳥井 康子**



## 令和元年東日本台風による 浸水家屋の補修について問う！

質問

令和元年東日本台風で浸水被害を受けた家屋について、補修に限定した支援が難しいのであれば、被災世帯の居住環境の改善やリフォーム業者の収入増につなげることができる住宅リフォーム支援制度を再開させてはどうか。

回答

住宅リフォーム支援制度は平成 23、24 年度の 2 年間に限定して開始した後、東日本大震災の発生に伴い、被災者支援のため 1 年間延長した。その際、市内で使える商品券を交付したことから、地域経済の活性化にも一定の効果があったと考えるが、現在の財政状況を考慮すると再開は難しいと考える。

ひと言

令和元年東日本台風から 3 年。被災された方々へのアフターケアが必要です。



あしがが自民党議員会  
わたなべ さとる  
**渡辺 悟**



## 中橋付近の堤防のかさ上げや中橋の 架け替え、跨線橋の整備を早急に！

質問

中橋付近の堤防のかさ上げやそれに伴う中橋の架け替え、JR 両毛線をまたぐ跨線橋の設置は、市民の悲願である。現在、国・県・市の合意により事業が進められているが、工期の長期化を心配する方も多いことから、今後のスケジュールを聞きたい。

回答

今年の秋から令和 6 年度にかけて、中橋の 3 連アーチを移設し、自転車・歩行者の専用橋として整備する。その後、現在の中橋付近に車道中心の新たな橋を建設する予定である。また、JR 両毛線をまたぐ跨線橋や田中町側の取付道路については、県の詳細設計がまとまり次第報告したい。

ひと言

中橋の架け替えは、昭和 22 年のカスリーン台風以来の市民の悲願です。



会派を構成しない議員  
おぜきえいこ  
**尾関 栄子**



## 5 名以上の ICT 支援員の 配置を！

質問

タブレット端末を有効活用するには ICT 支援員が必要である。令和 3 年度は 5 名の G I G A スクールサポーターを配置していたが、現在は情報教育推進アドバイザーが一人で市内の全小中学校の支援を行っている状況であり、早急な拡充が必要ではないか。

回答

タブレット端末導入当初は個別の支援体制をとってきたが、令和 4 年度からは G I G A スクールサポートサイトに対応マニュアルや活用例、教員が作成した教材等を掲載することで、教職員同士が学び支え合う体制を充実させ、市全体の底上げを図っている。併せて支援員の配置については、県に要望していく。

ひと言

教員の多忙化は深刻です。教員の増員と少人数学級の早期の実現を求めます。



公明党議員会  
ふじもと ひでき  
**藤本 秀樹**



## 男性用トイレに サニタリーボックスの設置を！

質問

前立腺がんや膀胱がんの治療を受け、尿取りパッドを使用する男性が増えている。外出時にも安心してパッドを交換できるように、公共施設などで男性トイレの個室にサニタリーボックスを設置する動きが広がっており、本市も導入すべきと考えるがどうか。

回答

サニタリーボックスの設置を進めるには、ニーズの把握と感染性廃棄物ともなり得るパッドの処理方法などの施設管理上の課題解決が必要である。患者会への聞き取りや関係機関との協議を行い、標準的な設置方法や感染防止対策等を定めるとともに、必要な施設に対して設置を働き掛けていく。

ひと言

誰もが安心して外出できるように、不安を抱えている方にも優しい環境整備に期待します。